

千葉県環境研究センターニュース

発行日 平成25年2月14日

通巻26号

1 市民と連携した企画展(市民活動展)の開催について

(1) はじめに

現在の環境問題の多くは、行政だけでなく市民の方々の協力が無ければ解決が困難です。このため環境研究センター(以下、センター)は、環境問題の解決に重要な役割を持つ県民の方々の環境保全活動を支援することを主要な活動の一つに掲げています。その一環として平成19年度から、センター学習施設において企画展の開催を始め、平成21年度からは、表1の様に市民の方々の活動をパネルで紹介する企画展(市民活動展)を開催しています。また、会場もセンターのみでなく、千葉市きぼーる、市役所ロビー、公民館など、より多くの方に見ていただくため様々な場所で開催しています。

表1 市民活動展の開催状況

年度	市民活動展タイトル	共催団体
21	フツー!の消費者と農家を結ぶ — 現地体験ふれあい型エコマインド“食ックツアー”もみがら食楽部 —	もみがら食楽部
21	パートナーシップと環境保全の輪をひろげる — エコメッセ in ちば —	エコメッセ2010 in ちば実行委員会
22	地域あげての温暖化防止活動 — 美田自治会のグリーン・ぐりーん大作戦 —	流山市美田自治会・ NPO 温暖化防止ながれやま・流山市
22~23	人と自然の共生をめざす環境教育 — NPO 法人千葉自然学校 —	NPO 法人千葉自然学校
23	市原の里山・緑を守る森人たち	NPO 法人ちば里山センター・市原市
24	ちばの里山を守る森人たち	NPO 法人ちば里山センター
24	“協力して”と“協力します”をつなぐ	エコメッセちば実行委員会

(2) これまでに開催した市民活動展

①フツー!の消費者と農家を結ぶ—現地体験ふれあい型エコマインド“食ックツアー”もみがら食楽部—

もみがら食楽部は平成19年度千葉県エコマインド養成講座の修了生5人が結成した活動団体です。もみがら食楽部では、“普通の”消費者と生産者の出会いを企画運営し、お互いの理解をすすめる、“食”を通じて環境への関心を広めるための体験学習会(=食ックツアー)を開いています。この活動を通じてメンバーの一人が無農薬の稲作栽培を始めるなど、農業に関連した環境保全の取組に発展しています。企画展では、体験学習会の様子を紹介しました。また、センターが開催した公開講座でも展示や発表を行っていただきました。(図1 もみがら食楽部の考え方)



平成19年度エコマインド養成講座地域での活動プログラム発表会スライドから(2009年12月12日)

図1 もみがら食楽部の考え方

②パートナーシップと環境保全の輪をひろげる—エコメッセin ちば—

「エコメッセin ちば」は、市民・企業・行政のパートナーシップを構築するとともに、環境保全の輪を広げるために、1996年から幕張新都心において開催されている環境のイベントです。実行委員会は市民・企業・行政の職員で構成され、エコメッセの企画、運営を行っています。展示では、1996年から2009年まで開催されたエコメッセの概要をパネルにまとめたほか、来場者および出展者アンケート調査の結果や、実行委員のエコメッセへの思いをインタビューして紹介しました。

(図2 エコメッセの記録パネル)



図2 エコメッセの記録パネル

③地域あげでの温暖化防止活動－美田自治会のグリーン・ぐりーん大作戦－

温暖化問題の解決には、多くの人が協力して取り組む必要がありますが、地域の自治会が市民団体と連携して温暖化防止に取り組む例はまだ少ない状況です。流山市美田自治会とNPO温暖化防止ながれやまが協働し、大学や行政等と連携して地域全体で温暖化防止【グリーンカーテンの普及とぐりーんバス（コミュニティバス）の利用拡大】に取り組み、その効果を測定しました。その取組である「グリーン・ぐりーん大作戦」とその成果を紹介しました。（図3 グリーン・ぐりーん大作戦チラシ部分）

④人と自然の共生をめざす環境教育－NPO法人千葉自然学校－

NPO法人千葉自然学校は千葉県の地域資源や人材を活用し、人々に自然体験、農林漁業体験の機会を提供するとともに、県土の環境保全及び地域振興を図ることを目的に設立されました。千葉県の自然・産物・産業・伝統文化・景観等を活かした体験活動を提供するとともに、自然体験活動をしている個人・団体とのネットワークの推進力となっています。千葉自然学校が千葉県内各地の自然のなかで実施してきた、地域の自然を活用し、人と自然の共生をめざす環境教育の学習プログラムを紹介しました。（写真1 自然発見ゲームの様子）

⑤市原の里山・緑を守る森人たち

NPO法人ちば里山センター（図4）は、千葉県里山条例の制定がきっかけとなり、里山活動団体が中心になって設立された会です。市民団体・市民・企業など、様々な立場の人々が、交流や情報の共有を通して、それぞれが持っている技術や知恵、人材などを併せることにより、ひとつの大きな力となって、人や生き物にとってかけがえのない里山の環境を未来に引き継ぐことを目的としています。また、市原市では市民団体等による里山保全活動が活発に取り組みられ、保全活動や自然学習の機会が提供されています。市原市とちば里山センターの協力を得て、市原市を中心として活動している10の市民団体の活動を紹介しました。市原市主催のイベント開催等に合わせ、市内6か所で展示を行いました。（写真2 展示風景）

⑥ちばの里山を守る森人たち

市原市で開催した展示が好評であったことから、千葉県全域の里山保全活動を紹介する展示を行いました。NPO法人ちば里山センターから会員に呼びかけてもらい、県内40の里山保全活動団体の活動を紹介しました。里山が抱える問題に関心を持ち、里山保全活動の参加者を増やす目的で開催しました。

⑦“協力して”と“協力します”をつなぐ

持続可能な社会づくりのためには、様々な分野の環境保全活動団体間の連携・協働が必要です。本展では参加団体の活動をパネルで紹介し、連携を図るため会期中に参加団体による交流会が会場で開催されました。

(3) 市民活動展の成果、感想

企画展見学者から「どのような活動をされているか、初めて知った。」「可能であれば参加したい。」などの感想がありました。実際にここで紹介した団体に入会された方もいました。

共催したNPOの方々からは、「展示パネルをつくるのが、これまでの活動のふりかえりになり、会の目的や課題を再確認できた。」「他団体の活動内容を知ることができ、交流ができた。」「互いの協働の可能性が出てきた。」などの意見を聞くことができました。

センターとして、「多くのNPOの方々との連携がはかれた。」「研究的視点でない環境の見方を知ることができた。」などの成果がありました。展示パネルを作成する作業は、市民団体の問題意識と活動目的を明確にする共同作業でした。市民団体の活動に参加し、対話をしたことで、お互いの信頼関係を育むことができたと思います。

(4) 市民活動展の募集について

センターでは、上記のように環境保全活動や環境学習に取り組んでいる団体の方々と協力して企画展を開催しています。協働での企画展開催をご希望の団体の方は学習施設（0436-24-5309）までご連絡ください。なお、全てのご要望に応えられない場合もあることをあらかじめご承知おき下さい。展示用パネルの作成は、皆様と協働で作成していきます。市民団体には、パネル作成に必要な情報の提供、展示作業、解説、広報等をお願いしています。（企画情報室 小川かほる）



図3 美田自治会のグリーン・ぐりーん大作戦チラシ(部分)
グリーンカーテンでおおわれた家・ゴーヤクッキングコンテスト・流山市コミュニティバス



写真1 NPO法人千葉自然学校

自然発見ゲーム：自然の中に人工物が隠されています。その隠されたものをじっくり観察して、探すことで、観察力を養い、自然の中で動物たちがうまく身を隠す知恵を学びます。

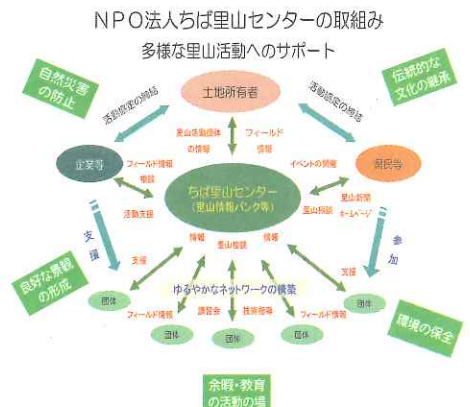


図4 ちば里山センター紹介パネル(抜粋)



写真2 展示風景(市原市リサイクルフェア)

2 公開講座について

公開講座は、県民の方々とのパートナーシップの確立を目指し、様々な環境に関するテーマについて、原則として月1回、土曜日に開催することにしております。今回は、平成24年9月～11月に実施した公開講座について紹介します。

平成24年9月29日(土) ～バスを利用した地質環境学習～

県内の地質環境について見学しました。主な見学先は下記のとおりです。

環境研究センター稲毛地区：施設内の液状化－流動化に伴う地盤の沈下の観察

養老溪谷：地層の観察と湧水と地下水質 について

関東天然瓦斯開発(株)：天然ガス・ヨウ素含有化石海水および採取基地の見学

大網白里町：清名幸谷における上ガスの状況

以下は参加された方々の感想です。

- ・自然との共生とはよく言うが、地質や地形、地層との共生も大切なことが分かった。
- ・かん水のくみ上げと天然ガスとヨウ素の分離による利用を実際工場に行き行って理解する事が出来た。
- ・川の中にわき出す天然ガスの利用を何か合理的な有効利用を今後考えたいと思った。
- ・砂層、泥層の見分け方、房総半島の地層の傾き、地下水の流れ方(弘文洞)など
- ・天然ガス中にヨードが多く、千葉県のヨード生産大なこと。



天然ガス井戸の見学



養老溪谷での地層の観察

平成24年10月28日(日) 環境教育・環境学習について考えましょう。

会場：環境研究センター稲毛地区

環境教育・環境学習に関するホットな話題、市民参加と環境教育、千葉県の取組、問題解決型の環境教育などについて、講演と対話を行いました。

以下は参加された方々の感想です。

- ・日常生活では関心をもって自らが情報を得にいかないと、環境情報がほとんど入らないこと。
- ・講義に対していろいろのご意見がでること。視点、観点のちがいがとても興味深かったです
- ・もっと世の中の環境活動状況を把握する事。千葉県にずっと住んでいながら、県が取り組んでいる活動をほとんど(まったく)知らなかった



講座の様子

県民環境講座の紹介

平成24年度より、公開講座の開催を事業者やNPOの方々に委託する事業を始めました。(これまで、県庁環境生活部環境政策課が行っていた事業です。)本年度はストップ地球温暖化千葉推進会議に4回分の開催を委託しました。今回は3回分の概要を紹介します。

(1) 平成24年10月24日(水) 「体験と工作で学ぼう！地球温暖化のこと」

会場：花見川第三小学校

人力発電機を使ってエネルギー大切さの話。LEDを使った工作

(2) 平成24年11月11日(日) 「体験と環境工作で学ぼう！環境のこと」

会場：袖ヶ浦市役所旧館大会議室

人力発電機を使ってエネルギー大切さの話。LEDを使った工作、CO₂の測定、DVD鑑賞など。

(3) 平成24年11月27日(火) 「液化天然ガスと太陽光発電・メガソーラーを学ぶ見学会」

見学場所：東京ガス袖ヶ浦工場(液化天然ガス)、

川崎エコ暮らし未来館(太陽光発電・メガソーラー)



人力発電機による発電実験



地球温暖化の説明の様子



LEDを使った工作



液化天然ガスタンク



太陽光発電パネル

3 センターからのお知らせ

(1) 平成24年度課題評価について

千葉県では、外部識者による試験研究機関の評価を行っております。平成24年度は下記の3課題について評価が実施されました。なお、評価結果等については千葉県ホームページ「試験研究機関の評価制度の概要」に掲載されております。

- ①事前評価「道路沿道地域におけるナノ粒子の実態把握に関する調査研究」(新規事業として開始が認められました。)
- ②中間評価「強震時の液状化・流動化現象と地質構造に関する研究」(事業の継続が認められました。)
- ③事後評価「事業場引抜汚泥からのりん削減に関する調査研究」(計画どおりの成果が得られたと評価されました。)

(2) センター見学、環境学習施設、講師派遣の利用について

環境研究センターでは、皆様の要望に応じて、センターの施設見学、学習会等の開催、学校・地域での環境学習への講師派遣を行っております。見学等のお申し込みは下記学習施設へお願いします。なお、全てのご要望に応えられない場合もあることをあらかじめご承知おき下さい。

講師派遣等を行っている講座(主なタイトル) 内容についてはお問い合わせ下さい。				
地球温暖化について	大気汚染について	水質汚濁について	環境放射能について	化学物質について
地下水汚染について	地震、液状化問題について	ゴミ問題について	騒音、振動問題について	環境学習について

(3) 環境学習用パネル、機材等の貸出について

環境研究センターでは、環境学習活動の支援のためパネルや機材等の貸出を行っております。貸出等のお申し込みは下記学習施設へお願いします。なお、全てのご要望に応えられない場合もあることをあらかじめご承知おき下さい。

- ①千葉県環境学習キット(千葉県が作成したもので、(a)「地球」とのつながり、(b)「自然」と出会う、(c)「ゴミ」って何だろう?の3種類があります。詳細は下記HPをご覧ください。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/kansei/kankyougakushuu/gakushuukit/index.html>

- ②環境学習用のビデオ、DVDライブラリーです。詳細は下記HPをご覧ください。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/kansei/kankyougakushuu/videolibrary/index.html>

- ③環境研究センターが作成した学習用パネルです。ゴミ、リサイクル関係パネル22種類、地球温暖化防止クイズパネル15種類、循環型社会クイズパネル7種類があり、いずれも大きさはB1版です。詳細は下記HPをご覧ください。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/wit/jouhou/kashidashi.html>

- ④その他、双眼鏡、エネルギー学習キット、紙漉セット、簡易型pH計、簡易型導電率計等もございます。詳細はお問い合わせください。

(4) 公開講座のお知らせ

- ①「環境放射能調査の結果について」 日時:3月30日(土)13:30より、場所:教育会館501号室
環境研究センターが実施した平成24年度環境放射能調査の結果を分かりやすく説明いたします。
- ②「バスを利用した工場見学」 日時:3月22日(金)、見学先:三井造船、フェニックスメタル(廃家電等のリサイクル)
集合場所、時間:環境研究センター稲毛地区、8:50までに集合してください。
昼食場所:環境研究センター市原地区。コンビニ等はありません。



廃タイヤをリサイクルして作ったパンダの椅子(こちらも貸出しております。)

編集後記

今回は、市民の方々の活動をパネルで紹介する企画展(市民活動展)の開催について紹介いたしました。現在の環境問題の多くは、行政だけでなく市民の方々の協力が無ければ解決が困難なことから、環境研究センターとしては、今後とも市民の方々と連携した活動を行っていきたくと考えております。



市原地区
市原市岩崎西1-8-8
大気・騒音関係:
0436-21-6371
廃棄物・化学物質関係:
0436-23-7777
環境学習施設:
0436-24-5309
・内房線五井駅より徒歩30分
・バス 五井駅西口3番乗場:
姉ヶ崎西口行き、吹上通り
角下車、徒歩約10分
バスの本数が少ないので
注意下さい。



稲毛地区
千葉市美浜区稲毛海岸3-5-1
水質関係:043-243-2935
地質関係:043-243-0261
・京葉線稲毛海岸駅より徒歩8分
・総武線稲毛駅より徒歩25分
・稲毛駅よりバス
西口1番乗場:稲毛海岸駅行き(齒科大経由、こじま公園経由)、西口5番乗場:マリンスターム行き、アクアリンクちば行き
稲岸公園下車、徒歩2分